

ごあいさつ

謹啓 貴社益々ご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご厚誼を賜り厚く御礼申し上げます。

私共は、福岡県朝倉市秋月にある「秋月草木染工所(株)工房夢細工)」という手染めにこだわった日本の伝統的な草木染を継承する工房です。工房というと小規模に聞こえるかもしれませんが、これまでにはそこそこのボリューム感をもって、いろんな企業様と手を組み、コラボレーションし、本物の草木染をご提供してまいりました。

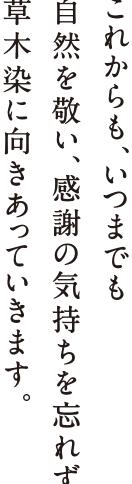
一方で、今、世の中には化学染料で染めたものを"草木染"だと言って売っているところが数多くあります。それは消費者に嘘をついていることですから、甚だ残念に思っています。そうしたビジネスが蔓延しているなかで、私共は本物の草木染にこだわり、本物を手掛けたいという心ある企業様と一緒に仕事ができるようにといつも念じております。

今、世の中はサステナブル(持続可能な開発目標)やダイバーシティ(多様性)などの新しい理念が浸透していて、 とくに若い世代には高い意識と新しい価値観を持ったライフスタイルで暮らす人が増えているようです。それは購買傾 向にも顕れていて、その意味では、今はいいビジネスチャンスではないでしょうか。

後のページで、私共のものづくりをご紹介し、草木染に関連する商品・企画等のご提案をさせていただきますので、 ご興味のある方、同じ価値観でビジネスを考えていらっしゃる方はぜひとも、ご連絡をいただけるとうれしく思います。

> 株工房夢細工 代表取締役 小室容久 TEL 0946-25-0032(代) Mail/mail@yumezaiku.com

秋月草木染工所の コンセプト



木 染



世界は今、期せずして多難な時代を迎え、 人はそれまで忘れていた自然に近づこうと 再び手を伸ばし始めています。 すると、それまでは見えなかった 自然の向こうにあるさまざまなものが 危機感を伴って見えてきて、 あらためて自然をたいせつにしようとする意識が 高まってきているように感じています。

わたしたち人間も自然の一部、

自然の未来は、わたしたちの未来でもあります。 その思いを胸に、自然を身近に置くことで得られる 心の豊かさまで一緒に染める草木染を 目指してまいります。











自然と対話しながら染める草木染

秋月にはいい水があり自然に恵まれていて、工房として染めの環境が整っていることもありますし、長い経験のなかで培われた技術も確かにあります。しかし、私の染めの核心はと言うと"直感"という言い方が一番、"正直"かもしれません。つまり・・・草木が染まりたがっている声に耳を傾けて、それに素直にしたがって染めていく・・・自然に寄り添い自然のなかで暮らしているうちに今、草木自らがどんな色に染まりたいかが見えてきます。草木が、何色に染まりたいか教えてくれます。霊感でもあるのですかと言われそうですが、それに近い感覚なのかもしれません。

だから、私が染めるのではなく草木の思いに寄り添い、草木自身がなろうと する色に導くお手伝いをさせていただいている、という感覚なのです。

草木がもともと持っている色が染まるように私たちがまわりの環境を整えることが自然な染めにつながるのです。

小室容久著『草木染めの色物語』より抜粋



草木と直にふれあい、草木の声を訊きながら一緒になって染めていくには、手染め でなくてはなりません。草木が染まろうとする色に染めてあげるのが染物師、それを 機械任せ、他人任せにすることなどできません。







昔風と思われるかもしれませんが、実は新しい技術も足しながら、一つ一つていねいに

深みと奥行きが出るまで何回も染め重ねていく・・・ そういうものづくりが、わたしたちの一貫した方針です。

草木染は、 どんな人にも寄り添い、 新しい価値を生み出します。

人がどんどん自然から離れ、化学と薬品のなかで暮らしていると、どんどん人間がおかしくなってきている気がします。人間も自然の一部ですから、本当は自然に寄り添って生きていくことが必要です。

わたしたちは、草木染が嫌い という人に会ったことがありません。

草木染は、誰にでも、どんな人にも寄り添い、見えないけれどもその人にとっての新しい価値観を生み出してくれるものだと思っています。





美しさの中にこそ、力が宿る。 常に美しくあることが わたしたちの全ての基準です。

美しい物、事、夢には力があります。

人を惹きつける力、動かす力、世の中を変えていく力だってあります。わたしたちが、美しい作品を生み出すには、まず自らの心、言葉、行いが美しいこと。どんなものでも、どんなときでも、美しいかどうかを問い、まず自分自身を磨いていく。それが結果的にいい作品を生み出すことにつながっていく・・・その循環が、わたしたちのものづくり、そして生きていく基準です。

秋月草木染工所の 仕事の紹介

わたしたちは、どこを切っても "知と匠"をこよなく愛する 職人集団です。

わたしたちの染めは、どぶ染め(浸染)という手法で染めています。 明治時代以前がそうであったように、

工房には鍋とザルと樽と棒しかありません。

染物屋ではありますが、組織のなかには縫製工場があり、小物の製作チーム、 ニットの製作チーム等々、全体を管理しやすい内製による職人の腕を活かした 品質の高いものづくりを行なっています。





染め種類

桜染

屋久杉染

藍染

その他、草木染全般

手法のバリエーション

- ◆トップ 染め 綿(オーガニックコットン)から染めます
- ◆糸染め 100kgほどを染めることもあります
- ◆布染め自然繊維(綿・麻・ウール・シルクなど)を染めます
- ◆製品染め 経製済み商品を染める方法です

エピソード01

有名どころも多いお取引先様

お取引先様には、アパレルメーカーはもちろん、誰もが知る日本の東西の大手百貨店様、生活協同組合様、著名なデザイナーズブランドや大手スポーツ用品メーカー様、また大手通販メーカー様等々、品質にはことに厳しいことで知られる企業さんばかりです。それぞれの業界の方々に私どもの評価をお聞きいただければ、自ずとクオリティがお分かりいただけるものと存じます。



ジュエリー作家とのコラボで 馬の毛を草木染しました



大手百貨店様とコラボしました



大手通販とコラボしカタログで販売



生活協同組合とコラボしカタログで販売

エピソード02

草木染は、色が褪めませんか? 「褪めます」

よくある質問ですが、「草木染は色が褪めませんか?」と。答えは、 「褪めます」。褪めない草木染なんてありません。

ただ、命ある草木の色をたいせつに愛でる心を持ち、色褪せすることも含めて楽しんでいただく方もいらっしゃいます。草木染は、染めた瞬間が色の誕生であり、そこから使う人とともに育っていくものだからです。例を挙げますと、ヤマモモ染めの黄色などは、私が使っていくとだんだんベージュになり、ある人が使うとモスグリーンに、また、別の人が使うと茶色になりました。草木染は、それを使う人のライフスタイルとともに変化していくものでもあり、その変化も含めて楽しんでいくことが、本物の草木染の魅力だと思っています。

すでに私たちは、色褪せを極力なくす新しい技術を習得し多くの商 品に展開しています。





エピソード03

入手が難しい屋久杉染原料の確保

工房夢細工オリジナルの「屋久杉染のバッグ」は、まず綿(オーガニックコットン)から屋久杉染をし(トップ染め)、糸を作り、本場倉敷で帆布を織っています。屋久杉は一般ではなかなか手に入りにくいものですが、実は私どもはもともと「お香」をつくるために屋久杉工芸の切れ端を集めて来て、屋久杉の精油を抜くという処理を行っていることから原料を確保することができています。







エピソード04

カーボンニュートラルの取組みもいち早く!

暮らしのなかにあって直接人の肌に触れるもの、身につけるものなどはできるだけ石油化学成分を含まない製品が望まれているなかで、私たちは化学染料をいっさい使わず自然の原料のみで伝統の草木染を継承し、言わばSDGsそのものの取組みを創業当初から約30数年、継続しています。自然の染料とはいえ、中には毒性を持ったものもありますので、私どもの工房では「染める液を飲める」ことを原則とし、染めをする自分達の身の安全、そして自然環境にやさしくということを大前提に取り組んでいます。

また、以前より染めに使うお湯を沸かすエネルギー源として太陽光 発電を導入し、温水器を4基連結して設置。環境負荷を抑えるな どカーボンニュートラルへの取組みも行なっています。





草木染による商品及び 事業展開例のご提案

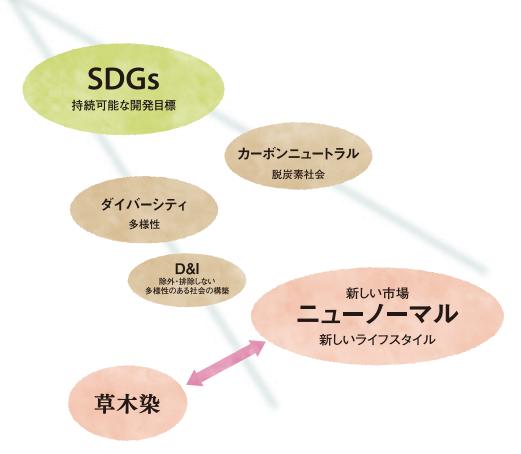
秋月草木染工所とのコラボによる商品展開のヒントにしていただければ幸いです。

●SDGsの理念のもとにファッション商品を展開

今、どの業界も「SDGs (持続可能な開発目標)」、「カーボンニュートラル」、そして「ダイバーシティ(多様性)」などの理念に沿った取組みを進める中、ビジネスとして事業展開、あるいは商品展開することと、社会貢献をいかに両立させるか、そこに頭を悩ませているようです。

とくにSDGsの17の目標の中には、地球環境やエコばかりではなく人に関わるテーマが半数以上あるため、人と社会の多様性を視野に、誰も排除することなくすべての人が同じ価値観を共有できるモノやコトを提供していく方法や打開策が求められています。

そこで、例えば私たちは「自然の息吹をまとう」などをテーマに、草 木染による商品展開をご提案いたします。



●昔の人の知恵が詰まった 色の力をテーマに商品展開

薬事法の問題、表現が難しいですが・・・実は草木染めの原料の多くは薬効を持っていて、その色にはさまざまな力があります。 その一部の例を紹介させていただくと・・・



ex_01 紫根染

殺菌作用があり、魔を祓う(デトックス)色として使われてきました。



ex_02 栗染

鎮静効果があり皮膚の病に効果があるとして、今のアトピー性皮膚炎などに昔から使われてきました。



ex_03 茜染

血の流れを整えて活性化する色として、下着 (腰巻きやふんどし)に使われてきました。



ex_04 藍(あい)染

藍染の色は、虫除けとして、葉は、胃腸の薬と して使われていました。



ex 05 楊梅(やまもも)染

染料に使うのは樹皮で、この煎じ液は皮膚病や火傷にも効果があります。

などなど、スカーフや下着、洋服等々展開は無限です。皆様とご 一緒にコラボ商品企画を考えてまいりたいと思いますので、ご相 談をお待ちしています。

詳しくは、小室容久の著書「草木染めの色物語」(社会評論社 刊) をご覧ください。



小室容久の著書

「草木染めの色物語」 ご希望の方へ

- ·価格/本体2,000円(税別)
- ・送料無料でお届けします

お電話・メール等でお申込みください。 詳細をご案内いたします。 ※内容/弊社HPに本の紹介があり ますので、そちらをごらんください。

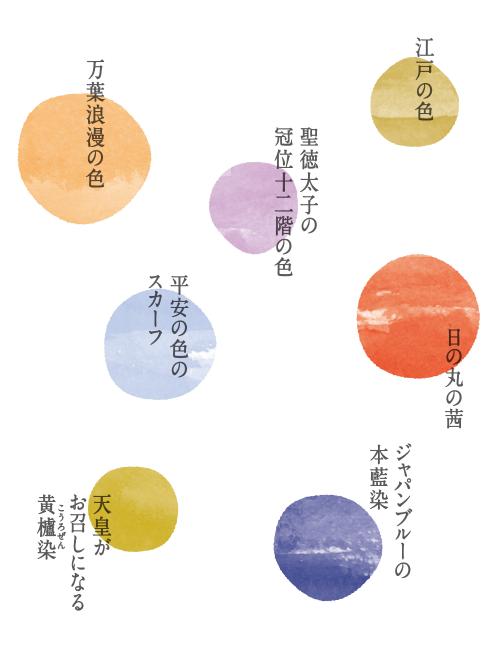
●いにしえの日本の色の世界に思いを馳せる・・・

十二単のように万葉の人々が憧れた色を偲び、同じ憧れを胸に色を羽織る品々の展開など、平安の色、江戸の色など歴史の夢やロマンを草木染の色に託して商品展開することが可能です。

平安の色でスカーフをなど、いにしえの浪漫に思いを馳せる商 品展開もおもしろいのではないでしょうか。







●還暦、喜寿、米寿などのお祝いの品を草木染めで・・・



「還暦」の赤、「古稀」の紫、「喜寿」の紫、「傘寿」の黄色、「米寿」も黄色、「白寿」は黒・・・と、長寿の祝いを草木染で商品展開ができます。





提案 .05

●メイド・イン・ジャパンの ものづくりをテーマに商品展開

私たちは現在、日本の伝統を築いているものづくりの達人たちと タッグを組んだメイド・イン・ジャパンの商品展開にも力を入れて います。帆布のほかに靴下、綿糸は日本で一、二を争う技術を もった企業様とコラボしてオリジナルの商品を展開しています。

提案 .06

●草木染めの色が持つ風水的な力とリンクさせた 商品展開も可能です

草木染の色の力は、まさに風水のそれと近く、コラボさせた商品 展開が可能ではないでしょうか。

提案 .07

- ●その他、草木染は幅広いテーマで ご活用いただけます
- ご当地特産の植物で染め特産品としてご提案(その地方の 桜染、ボタン、ブーゲンビリア等々)
- 余った食材、捨てられる食材等々で草木染の商品を開発(ワインの搾りかす、玉ねぎの皮等々)
- テーマパークなどに草木染のワークショップをご提案します。

秋月草木染工所の実績

<OEMやPB商品企画のコラボレーション>

ある銀行からの依頼で、〇〇染めのオリジナルポーチをつくり、銀行のマークを刺繍して納品。

製品のTシャツを染め て、タレントさんのPB ブランドを製作。



ニット製品では、某有名デザイナーズブランドとコラボして、OEMでカーディガン他600着ほどを納品。



お坊さんの法衣のための 布を染めたり、数珠の玉を 染める特殊なオーダーに

皮を染めてスニーカーをつくり、大手スポー ツ用品メーカーのオリジナルとして販売。

※皮製品の染めは、東京で活動するグループ会社 「マイトデザインワークス(代表 小室真人)」で行ない ます。そちらにお問合せいただいてもかまいません。



屋久杉染バッグを企画して通販で 総数3000個以上を販売。

春に納品するという新たな試みを成

功させました。





も対応。

草木染のカーテンをつくるため糸から染めて生地を織りカーテンを 仕上げるという贅沢なオーダーにも対応。



大阪の百貨店で桜染の紳士 東有名百貨店の通販で、ロングブラ ウス2アイテム、それぞれの色5アイ テムを9月にオーダーを取って翌年

著名な工芸家やつまみ細工作家とコラボで商品を展開。

リア染など)





私たちの染めは、どぶ染めのため型染めはいたしておりません。柄などに関しては、上からシルクスクリーンで色を載せるとか、刺繍するとか、絞り染めなどで染める生地そのものを柄にするなどの方法で、製品をつくっています。

※「草木染の原料」や「色の力」については、詳しくは弊社ホームページ等、またはグループ会社のマイトデザインワークス(代表・小室真人)のホームページをご覧ください。

秋月草木染工所の 組織の紹介・お問い合わせ先

帆布

靴下





営業及び企画の皆様へ

私共では、桜染をはじめとするいろいろな草木染のオリジナル 商品を展開しておりますので、御社の企画・事業展開にご活 用いただきますよう、ご検討をよろしくお願い申し上げます。

株式会社 工房夢細工

代表取締役 小室容久

〒838-0011 福岡県朝倉市秋月野鳥708-6

TEL:0946-25-0032(代) FAX:0946-25-0043

Mail/mail@yumezaiku.com

URL/www.yumezaiku.com shopsite/www.yumezaiku.shop



<工房>

◆ 秋月草木染工所

〒838-0011 福岡県朝倉市秋月野鳥469-1 TEL:0946-25-0273 FAX:0946-25-0277

営業時間:10:00~17:00

・工房見学体験染めできます。※要予約

<店舗>



◆ 本店

〒838-0011 福岡県朝倉市秋月野鳥708-6 TEL:0946-25-0032(代) FAX:0946-25-0043

◆ 杉の馬場店

〒838-0011 福岡県朝倉市秋月野鳥680-1 TEL:0946-25-1870(代) FAX:0946-25-1870

◆ 日田豆田店 さくらもり

〒877-0005 大分県日田市豆田町9-32 TEL:0973-28-6302 FAX:0973-28-6303

お問い合わせは営業企画部へ

TEL 0946-25-0032(代) Mail mail@yumezaiku.com



Websaite www.yumezaiku.com



Instagram @yumezaiku_akizuki



Facebook
@koubouyumezaiku